

SDGS の取り組みについて

① 東京都の社会的課題解決に貢献する「東京ソーシャルボンド」への投資について
AMUSE 株式会社（以下「当社」）は、資産運用を通じた社会貢献への取り組みとして、東京都が発行するソーシャルボンド「東京ソーシャルボンド」への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします。

東京ソーシャルボンド発行による調達資金は、「公共施設・インフラの防災対策／老朽化対策」、「産業の振興と雇用の維持・創出」、「一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばすための教育環境の整備」、「介護サービス基盤の整備」、「児童福祉施設等の設備」、「公共施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化」に充当される予定です。

当社は幅広い社会の課題に対して積極的に取り組んでおり、今回の東京ソーシャルボンドへの投資を通じて、サステナブル・リカバリー（持続可能な回復）や、強靱で持続可能な都市の実現に向けた取組にも貢献していきたいと考えています。

引き続き、当社は、地域・社会や環境との共生、経済・企業との安定的な成長共有の観点から、ESG 領域における投融資を一層推進して参ります。

※ソーシャルボンドは、社会的課題解決に要する資金を調達するために発行する債券です。東京ソーシャルボンドは、国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）が定義する「ソーシャルボンド」の特性に従った債券である旨、セカンド・パーティー・オピニオンを取得しています（セカンド・パーティー・オピニオン発行者：R&I）。

② 独立行政法人日本学生支援機構「ソーシャルボンド」への投資について
AMUSE 株式会社は、このたび、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「同機構」という）が発行するソーシャルボンド（第 71 回日本学生支援債券、以下「本債券」という）へ投資を決定しましたので、お知らせします。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券のことであり、グリーンボンドとともに、ESG(1)投資の対象となります。本債券は、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、世界的な ESG 評価機関であるムーディーズ・ジャパンからセカンド・パーティー・オピニオンを取得しており、「ソーシャルボンド」として発行されます。

本債券の発行による調達資金は、同機構が担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。奨学金事業は、日本国憲法第 26 条や教育基本法第 4 条に定められる「教育の機会均等」や、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) (2)の内、目標 4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に貢献します。

当社は、本債券を始めとしたグリーンボンド・ソーシャルボンドへの投資を継続的に実施することで、今後も社会的責任を果たして参ります。

(1) ESG とは、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG 投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと

(2) 持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015 年 9 月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が掲げる、加盟各国が 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 のターゲットのこと